

令和4年9月25日（日） 14時30分～16時

## 大島干潟を育てる会の活動について

「大島干潟を育てる会」の定期活動が、行われました。  
秋晴れの心地よい風に吹かれながらアサリ班とカキ班に分かれ、作業を進めました。



### 【アサリ班の活動】

被覆網下のアサリの生息密度を管理する作業を行いました。

被覆網下でアサリが高密度に生育していると、餌不足で死滅する個体が増加します。

特に、大型個体が高密度になると、死滅する個体が増えるため、このように大型個体の間引き作業を定期的に行っています。

※その他のアサリ班の写真は、下記掲載しています。



### 【被覆網(ひふくあみ)とは】

アサリ人工稚貝を干潟域で育成する手法の一つとして、ツメタガイやカニ類等による食害、波浪・流れによる稚貝散逸を防止することを目的に、砂浜に被せる網のことです。

網を被せて、稚貝を保護育成します。





### 【カキ班の活動】

先日設置したカキ養殖施設に、ぶら下げているカゴを取り出して、カキの成長を観察しました。

カキの成長は個体毎に違うこともあり、大小の大きさに分別して、大小別々のカゴに移設します。

ここ最近の海水状況の影響により、1カゴで20～25個程度のカキが死んでいました。

